

第1回 冬期道路交通の確保のあり方に関する検討委員会

議事概要

1. 日時

平成24年8月30日（木）13:30～15:30

2. 出席者委員

田村亨委員長、木村一裕委員、倉内利浩委員、丸山結香委員、諸橋和行委員

3. 議事概要

事務局より資料について説明した。主な議論は以下のとおり。

■論点、検討の進め方について

- 人が中山間地で生活していることにより国土が保全されているという考え方もある。国土保全的な視点も必要ではないか。
- 交通経済の視点も必要であり、豪雪によりどの程度の経済損失が発生しているか、定量的に把握すべきではないか。
- ドライバーへの情報提供の仕組みについて検討すべき。
- 冬期道路交通の確保のあり方について、大都市と中山間地に分けて検討を進めるべきでないか。
- 都市間を結ぶ道路と地域内の道路とではニーズが異なることから、道路の特性に応じて検討すべきでないか。

■道路交通の冬期の特性について

- 無雪期に重要な路線は冬期でも重要な路線である。また、冬期に特に重要性が増す路線もある。
- 雪の降り方が変わってきている中で、降雪が道路交通にどのような影響があるのかを把握すべきでないか。

■除雪担い手について

- 除雪業者の確保の困難さが顕在化している。

■自治体に対する国の支援について

- 地方自治体に対する国の支援については、地域によってニーズが異なることから、支援メニューを選択できるようにすべきでないか。